

ANYWAY, I'LL STICK OUT.

これが始まりでした。

第1回 1976年(S.51) 8/18～8/21

場所：琵琶湖畔「近江白浜」

シニアグループの主催するキャンプ。
当時唯一のクルマであった藤原さんの
バイオレットに毛布を満載して走行。
復路は民生局のバスを利用。
流行語「せんこう花火」。



1976年 シニアグループキャンプ

第2回 1977年(S.52) 8/8～8/9

場所：移動キャンプ

琵琶湖畔「近江白浜」>「近江高島」>
わに民宿>「ピワコパレイ」
(シルダニキャンプ場)

初の大阪シニアクラブ主催のキャンプ。
少人数での移動キャンプ等の試行。
DOCUMENT of CAMP No.1を制作。
大北さん、危うくりフトから
降りそこなうところだった。
流行語の「ブツツウー！」。
民宿の軽トラック便乗に賛否両論。



1977年 初の大阪シニアクラブ主催キャンプ

第3回 1978年(S.53) 8/9～8/13

場所：大移動キャンプ

鳥取県「牧谷海岸キャンプ場」>
京都府「八丁浜キャンプ場」>
福井県「若狭・白浜キャンプ場」

朝日新聞文化厚生事業団より寄付を獲得。
走行中の「シビック」車内トイレ事件。
DOCUMENT of CAMP 1978を制作。
井川会長の「怒！」ふたつ。
辰谷さんの奇妙な「泉州ファッション」登場。



1978年 近江高浜駅前にて

第4回 1979年(S.54) 8/2～8/6

場所：マキノ高原キャンプ場

レンタカーを含む計6台のクルマを利用。
シニア漫才コンビのレンタカー値切り作戦。
DOCUMENT of CAMP 1979を制作。
参加者全員が「係」を担当。
驚異のミーティング回数を記録。
「青空教室」「オリエンテーリング」の実施。
「ひよこ踊り」「闇鍋」「クラフト」
無線を使い先行車のタイヤ異常を知らせる
見事な連携プレイ。



1979年「妹軍団」が加わったマキノ高原キャンプ



1977年 移動キャンプ

20年の歩みを一番感じさせてくれるのが
元気いっぱいの笑顔です。パワフルSENIORキッズ!

第17回 1992年(H.4) 8/21～8/23

場所：マキノ高原キャンプ場

OSCオリジナルポロシャツ(パープル)制作。
モニターとノートパソコンで星座のシミュレーション。
深夜の辰谷さん人生相談。
液晶プロジェクターによる野外シアター。



1992年 マキノ高原キャンプ場
にぎやか食事風景

第18回 1993年(H.5) 8/6～8/8

場所：マキノ高原キャンプ場

撤収が遅れ、キャンプ場の精算できずに帰路へ。
大津花火大会の為に深夜におよぶ大渋滞遭遇。
大渋滞から行き違いが・・・「迷路のネズミ」。
参加者数の40%を越えるパワフルキッズ。
ユニット制運営の実施。



1992年 ナイトラウンジ「四谷」
パソコンを持ち込んで星座のシミュレーション

第19回 1994年(H.6) 8/6～8/8

場所：マキノ高原キャンプ場

本格的・青竹を使った「そうめん流し」復活。
子供達自らの企画による「ボール投げ」ゲーム。



1993年 はしゃぐ子供達の後ろでは、
ランブ掃除のメンバー達

第20回 1995年(H.7)

20周年アニバーサリーキャンプ

皆さん、ぜひ御参加ください!!

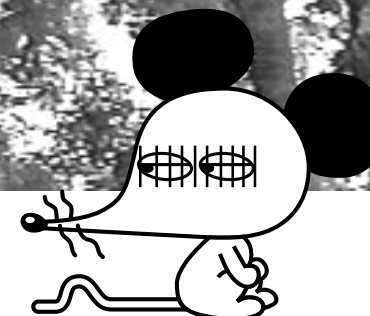
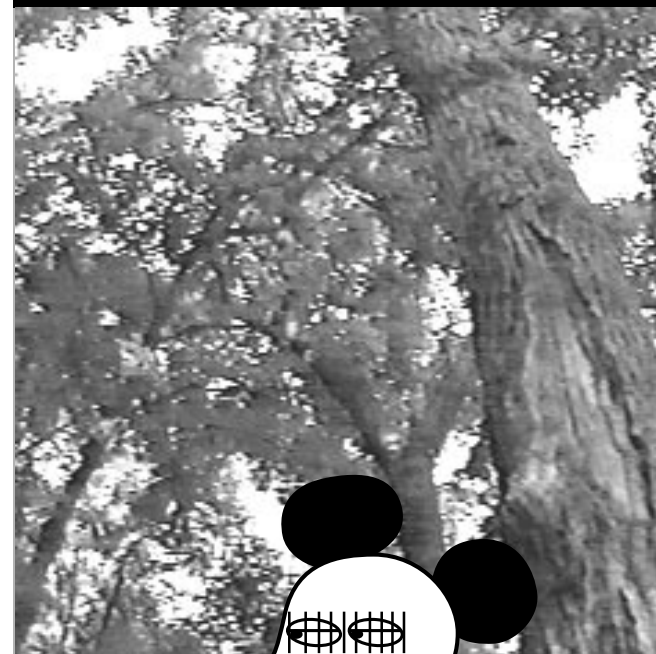
日程は6月中旬に、現地地下見の上で決定予定です。

1994年 マキノ高原キャンプ場



1994年 石山さん企画の「そうめん流し」は
子供達にも大人気!

SENIOR Communications



20周年アニバーサリーキャンプ

記念企画

シニアヒストリー of CAMP

OSAKA SENIOR CLUB

SINCE 1976

The 20th Anniversary of OSAKA SENIOR CLUB

私たち大阪シニアクラブのベース・イベントである夏のキャンプも、1976年の第1回目から数えて、今年でいよいよ第20回目を迎えることになりました。

森ノ宮・青少年会館でのミーティングが、やがて水割りのグラスを傾けながらの語りいと変わり、そしてパソコン通信を駆使したコミュニケーションとなってもキャンプの醍醐味は20年前と変わらません。

あの頃と同じ木々の緑、やさしいそよ風、土の温もり、眩しい木もれび、澄んだ空、こだまする歓声がそこにはあります。そして、私たちが編み出した不思議な運営形態や、ユニークなイベントの数々があなたをお待ちしています。

この記念すべきキャンプに、
最もふさわしいのはやはり、あなたです。



1980年 黒沢ハイランド 野点に挑戦する井川会長

第5回 1980年(S.55)

場所：和歌山県「黒沢ハイランド」

長期キャンプを実施するが、参加者の出入りが激しく統一感がなかった。
OSCオリジナル黄色いTシャツ。
松塚さん「カリーナ」スリッパ!、路肩から転落。
食堂 TENT をレンタル利用。
合板と竹でテーブル・イスを制作。
真由美さんの「茶の湯」企画。
喫茶「お岩」登場。

第6回 1981年(S.56)

場所：琵琶湖畔「近江白浜」

たった一人で先発キャンプの辰谷さん。
淡谷さん「シビック」出発前に大事故。

第7回 1982年(S.57)

場所：琵琶湖畔「マキノ浜」

斧田さん、夜中に到着。「シニアでっか?」
角田さん、初参加ながら「暴言いっぱつ!」

第8回 1983年(S.58)

場所：琵琶湖畔「近江白浜」

松塚さんの結婚式に出席した後、キャンプに出発という離れ業。
高島バイパス快走! キャンプ地通過。
「みじめネズミ」ステッカー制作。

第9回 1984年(S.59)

場所：マキノ高原キャンプ場(上の林)

クルマでの参加者増加、「大中古車市」みたい・・・。
復路、北川さん「アコード」事故。



1980年 喫茶「お岩」初登場

第10回 1985年(S.60)

場所：マキノ高原キャンプ場(上の道)

炎天下でのキャンプ。岩の上でベグも打てない。
初の「そうめん流し」、不思議そうな周囲の目。
カーオリエンテーリングの企画・実施。

第11回 1986年(S.61)

場所：マキノ高原キャンプ場(水車小屋横)

出口からの発想、キャンプ前文集の制作。
RAN-S
(リラックス・アミューズメント・サムシングニュー・スムース)
OSCオリジナル・ソング・ブックを制作。

第12回 1987年(S.62)

場所：マキノ高原キャンプ場(水車小屋横)

蚊が多い。

第13回 1988年(S.63)

場所：マキノ高原キャンプ場

淡谷さん、陽一郎くん(3歳)を連れての子連れキャンプ。

第14回 1989年(H.1)

場所：マキノ高原キャンプ場(テニスコート横)

石黒さん、仕事のついでにカレー作りの為にキャンプ場来訪。
夜明けの虫攻め!
松塚さんはその後、両手・両足・首に包帯を巻く姿で通院生活。

第15回 1990年(H.2)

場所：マキノ高原キャンプ場

OSCオリジナルポロシャツ(エメラルドグリーン)制作。
デニース仕込みの包丁さばきの清田さん登場。
八代功介クン後部座席から転落、父責められる。

第16回 1991年(H.3)

場所：マキノ高原キャンプ場

OSCオリジナルポロシャツ(ブルー)制作。
カクテルバー「四谷」本格的始動!
不慣れなバーテン、強烈カクテル!。



1980年 黒沢ハイランド



1983年 マキノキャンプ 会員証を手に記念撮影



1980年 黒沢ハイランド



1983年 近江白浜キャンプ



1989年 マキノキャンプ